



NetAppコンソールのリリースノート

Release Notes

NetApp
October 07, 2025

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/console-relnotes/index.html> on October 07, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

NetAppコンソールのリリースノート	1
NetAppコンソールの最近の変更	2
管理機能	2
2025年10月6日	2
BlueXPはNetAppコンソールになりました	2
コンソールエージェント 4.0.0	8
NetAppコンソール	9
2025年8月11日	10
2025年7月31日	11
アラート	11
2025年10月6日	11
2024年10月7日	12
Amazon FSx for ONTAP	12
2025年10月6日	12
2025年8月3日	12
2025年7月14日	13
Amazon S3 ストレージ	13
2025年10月6日	13
Azure BLOB ストレージ	13
2025年10月6日	13
2023年6月5日	14
Azure NetApp Files	14
2025年10月6日	14
2025年1月13日	14
2024年6月12日	14
2024年4月22日	14
バックアップとリカバリ	15
2025年10月6日	15
2025年8月25日	17
2025年8月12日	17
2025年7月28日	19
2025年7月14日	19
2025年6月9日	20
データ分類	22
2025年10月6日	22
2025年8月11日	23
2025年7月14日	23
2025年6月10日	23
2025年5月12日	24

2025年4月14日	25
2025年3月10日	26
2025年2月19日	26
2025年1月22日	27
2024年12月16日	27
Cloud Volumes ONTAP	28
2025年10月6日	28
2025年9月4日	28
2025年8月11日	28
コピーと同期	29
2025年10月6日	29
2025年2月2日	29
2024年10月27日	29
デジタルアドバイザー	29
2025年10月6日	29
2025年8月6日	30
09 2025年7月	30
ライセンスとサブスクリプション	30
2025年10月6日	30
2025年3月10日	31
2025年2月10日	31
2024年3月5日	31
30 2023年7月	32
ディザスタ リカバリ	32
2025年10月6日	32
2025年8月4日	33
2025年7月14日	33
Eシリーズシステム	34
2025年10月6日	34
2025年5月12日	34
2022年9月18日	35
ライフサイクルプランニング	35
2025年10月6日	35
2024年5月15日	35
2024年3月14日	35
エッジキャッシュ	36
Google Cloud NetApp Volumes	36
2025年10月6日	36
Google Cloud Storage	36
2025年10月6日	36
Keystone	37

2025年10月6日	37
2025年9月22日	37
2025年8月28日	37
Kubernetes	38
移行レポート	38
オンプレミスのONTAPクラスター	38
2025年10月6日	38
2025年5月12日	38
2024年11月26日	38
運用の回復力	38
ランサムウェア耐性	39
2025年10月6日	39
2025年7月15日	39
2025年6月9日	40
2025年5月13日	40
2025年4月29日	41
2025年4月14日	41
修正策	42
レプリケーション	42
2025年10月6日	42
2022年9月18日	42
2022年7月31日	43
2021年9月2日	43
ソフトウェアアップデート	43
2025年10月6日	43
2025年5月12日	43
2025年4月2日	44
StorageGRID	44
2025年10月6日	44
2025年5月12日	44
2024年8月7日	44
2022年9月18日	44
クラウド階層化	45
2025年10月6日	45
2023年8月9日	45
2023年7月4日	45
ボリュームキャッシュ	46
2025年10月6日	46
2023年6月4日	46
ワークロードファクトリー	46
2025年10月6日	46

2025年10月5日	47
2025年6月29日	47
2025年5月4日	47
リリースノートのインデックス	48
管理	48
ストレージ	48
サービスとしてのストレージ	48
データサービス	48
法律上の表示	50
著作権	50
商標	50
特許	50
プライバシー ポリシー	50
オープンソース	50

NetAppコンソールのリリースノート

NetAppコンソールの最近の変更

NetAppコンソールの一部である機能とデータ サービスに対する最新の変更について説明します。完全なリリース履歴については、"[リリースノート全文](#)"個々のサービスごとに。

管理機能

このセクションでは、NetAppコンソール管理機能に関連する新機能 (組織、識別とアクセス、コンソール エージェント、クラウド プロバイダーの資格情報など) について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

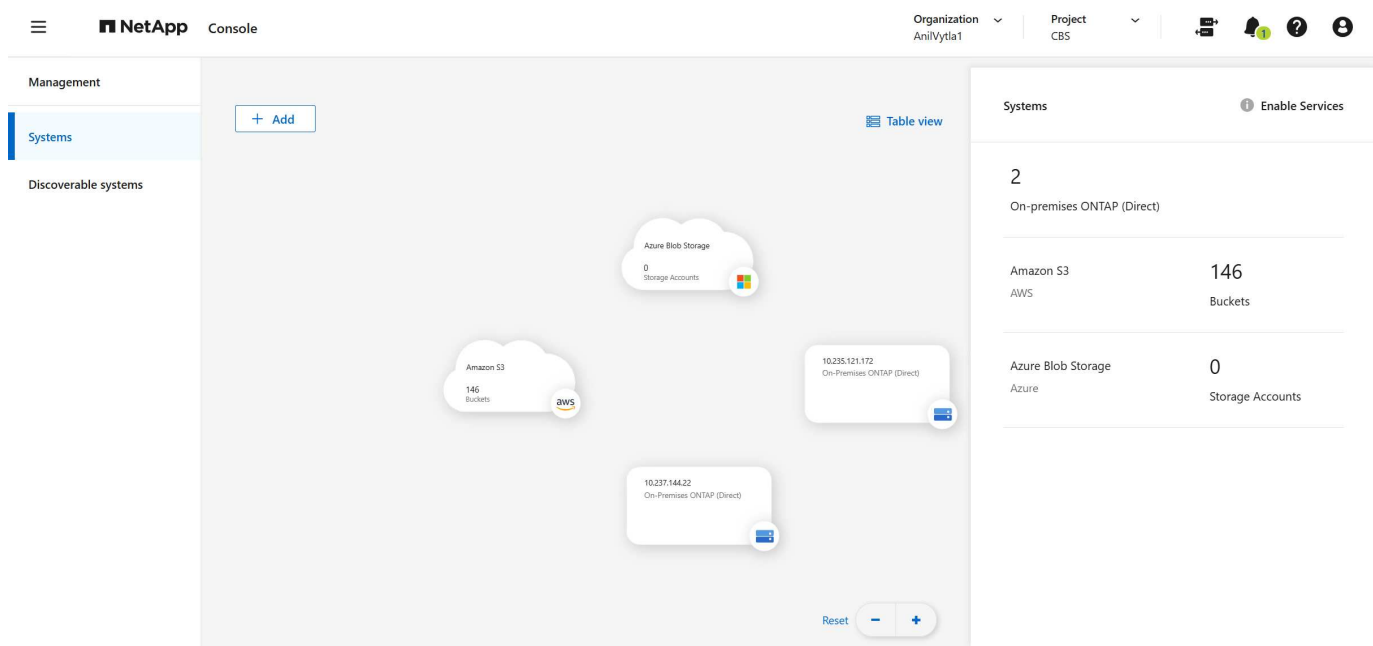
NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、安全性とコンプライアンスが確保された簡素化された管理を実現します。

ナビゲーションメニューとページ

NetApp は、ほとんどのメニュー オプションを左側のナビゲーション ペインに移動し、メニューを再編成して、NetAppコンソールでのナビゲーションを容易にしました。

Canvasはシステムページに置き換えられました

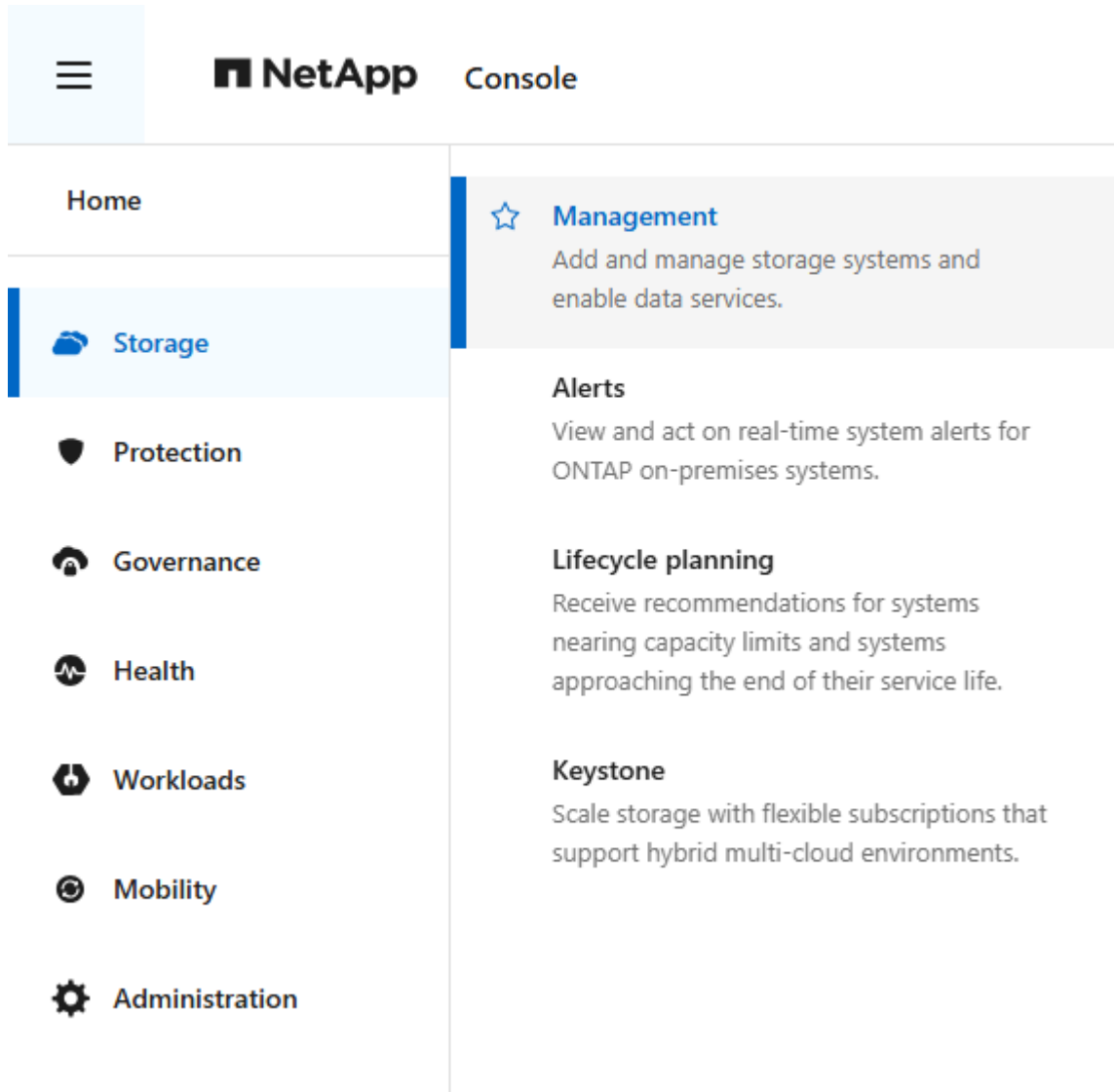
NetApp は、Canvas の名前を **Systems** ページに変更しました。ストレージ > 管理 メニューから システム ページに移動します。



拡張ストレージメニュー

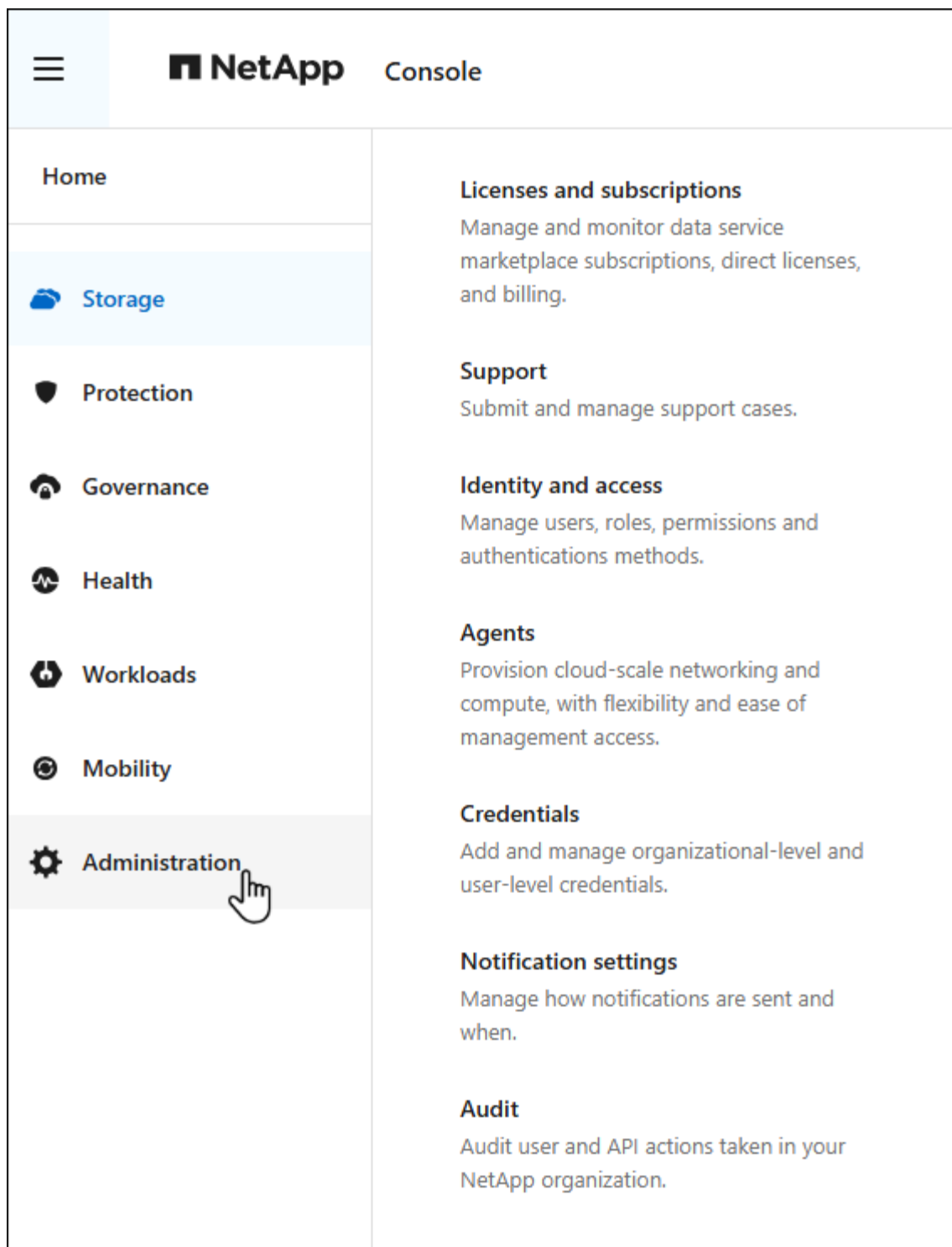
ストレージメニューには、ONTAPシステムのアラートを表示するためのアラートと、未使用または十分に活用されていないリソースを識別するためのライフサイクルプランニング (旧 経済効率) が含まれています。

NetAppはKeystoneを*ストレージ*メニューに移動しました。ここで、NetApp Keystoneサブスクリプションを管理し、使用状況を表示できます。



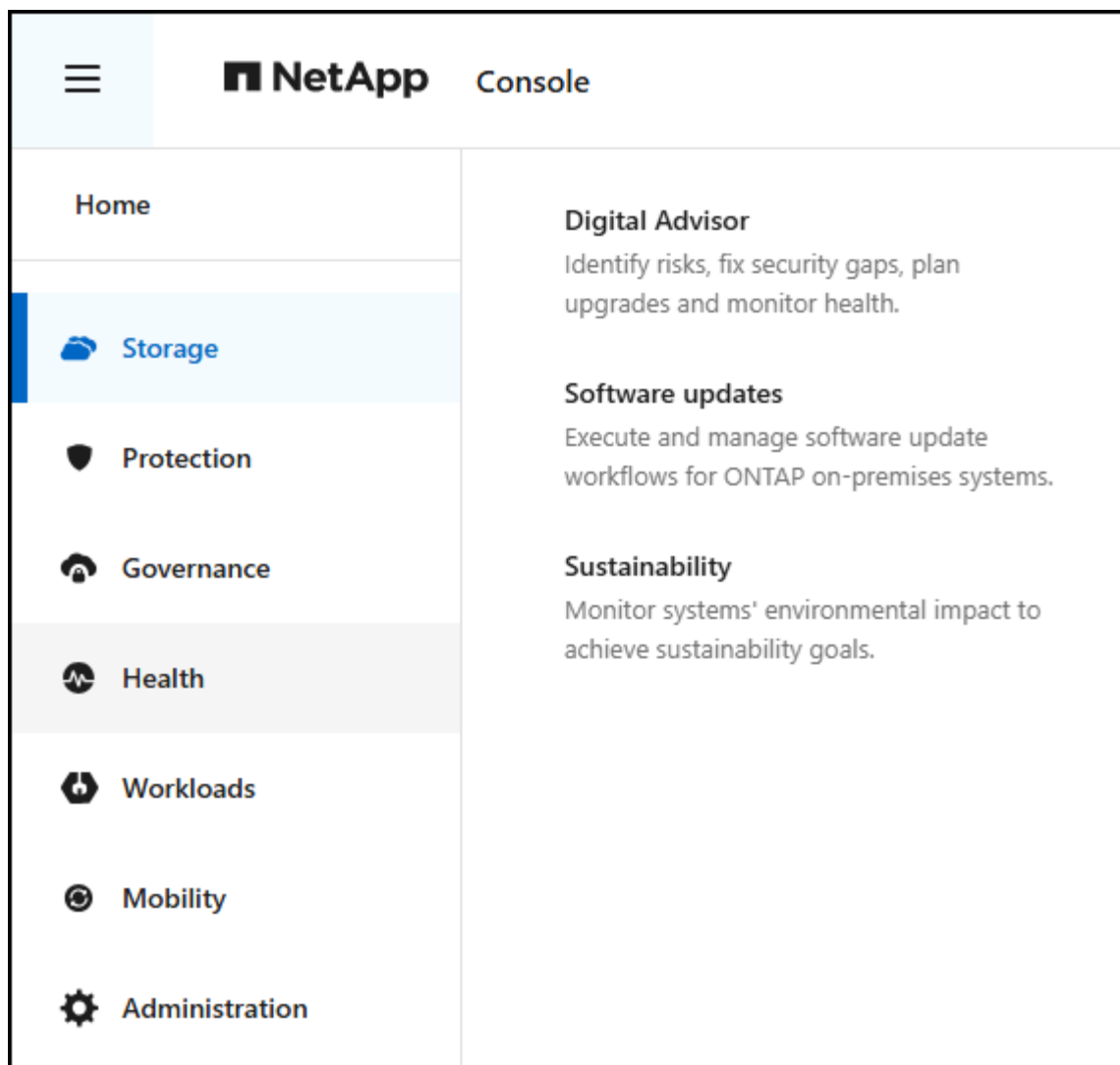
管理メニュー

一元化された管理メニューを使用して、NetAppコンソール、サポートケース、ライセンス、サブスクリプション (以前はデジタルウォレットと呼ばれていました) を管理します。



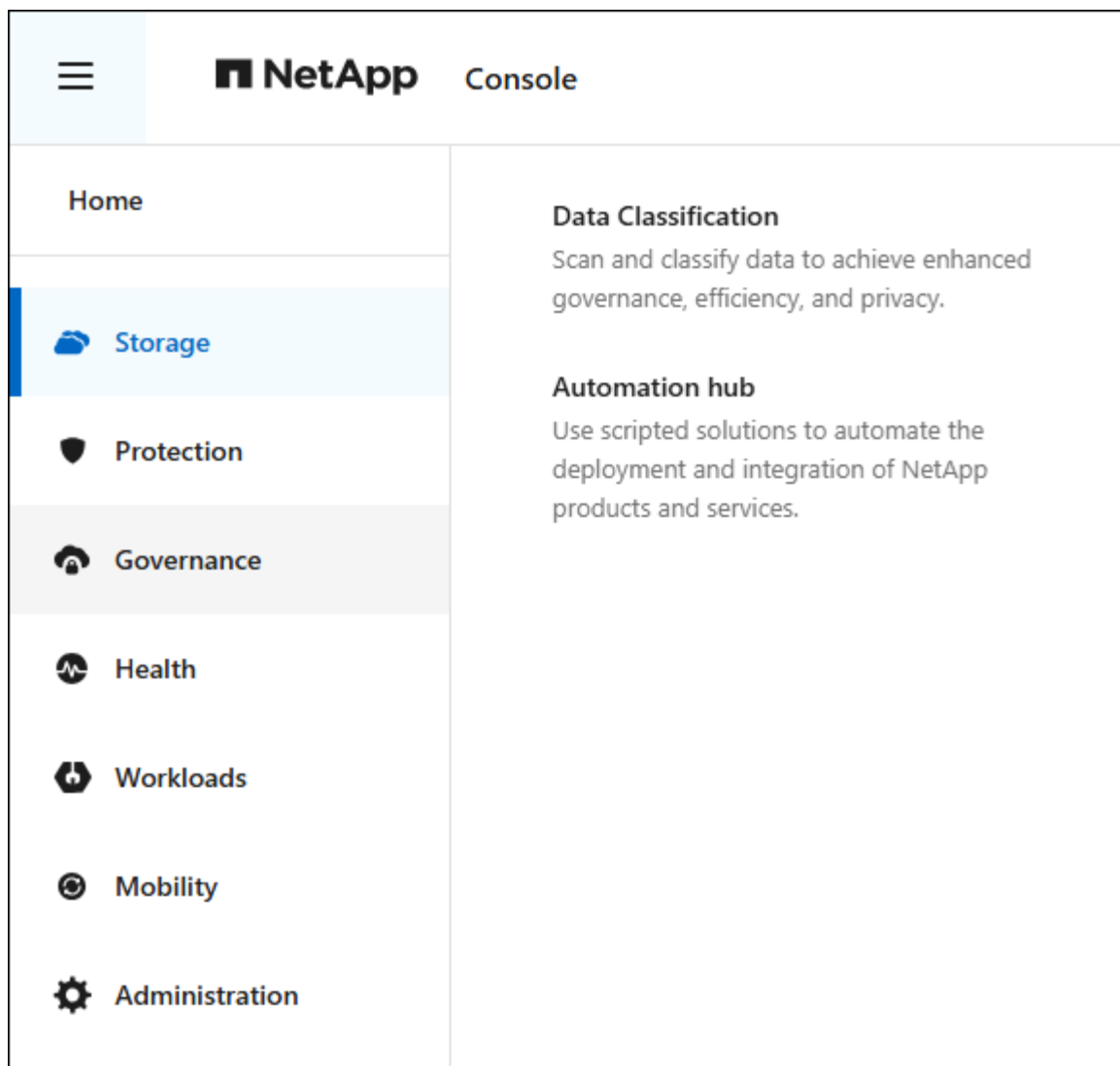
健康メニュー

効率的な **Health** メニューには、ONTAPソフトウェアの更新を管理できる **Software updates**、環境への影響を監視できる **Sustainability**、ストレージ環境を最適化するためのプロアクティブな推奨事項を入手できる * Digital Advisor* が含まれます。



ガバナンスメニュー

ガバナンス メニューには、データ分類とコンプライアンスを管理できる データ分類 と、自動化ワークフローを作成して管理できる 自動化ハブ が含まれています。



要素、データサービス、機能のより直感的な命名

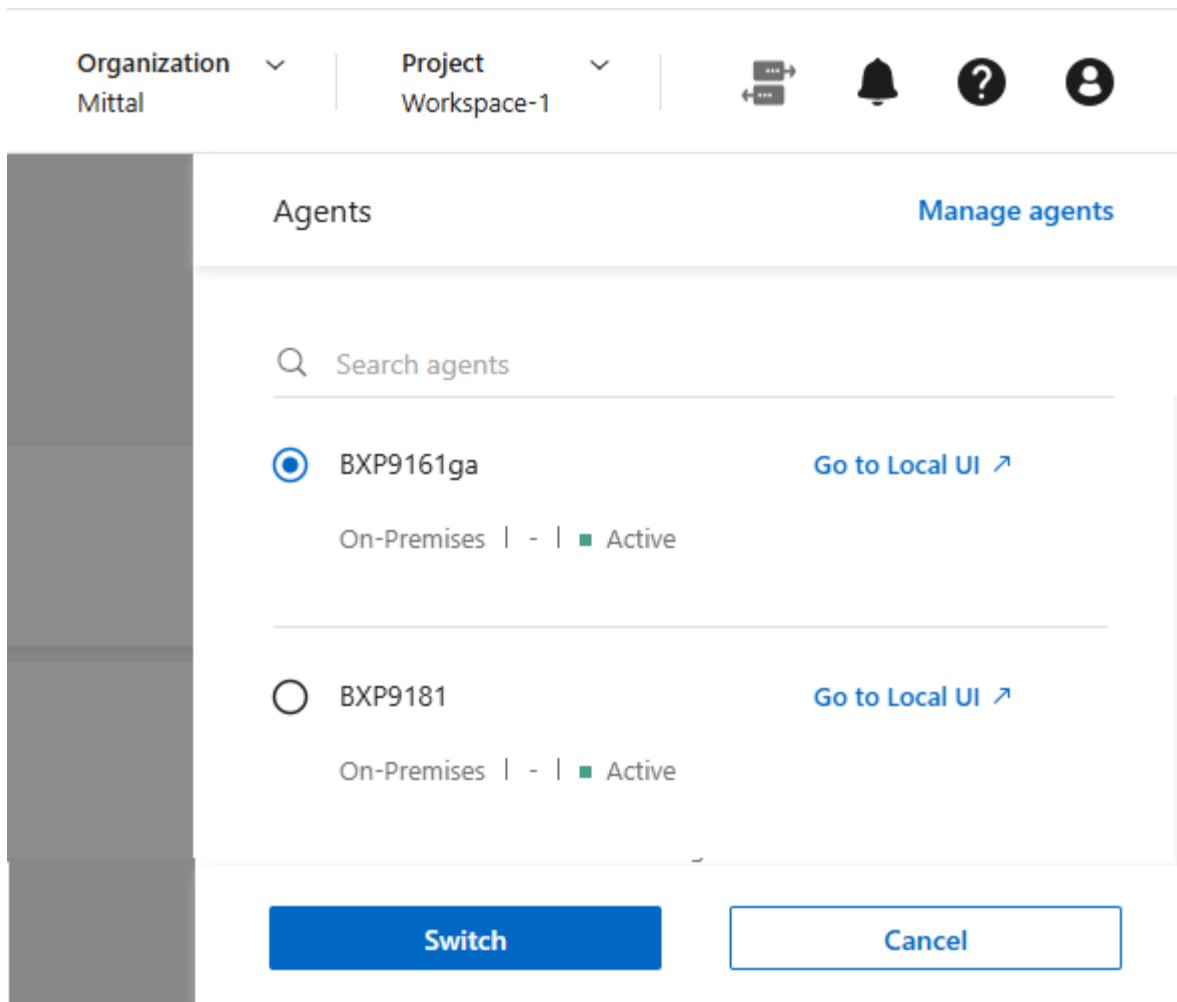
NetApp は、目的を明確にするために、いくつかの要素、データ サービス、および機能の名前を変更しました。主な変更点は次のとおりです。

以前の名前	* NetAppコンソール名*
コネクタ	コンソールエージェント。 管理 > エージェント メニューからエージェントを表示、追加、管理します。
タイムラインページ	監査ページ 管理 > 監査 メニューから監査コンソールのアクティビティを表示します。
労働環境	システム ストレージ > 管理 メニューからシステムを表示、追加、管理します。

以前の名前	* NetAppコンソール名*
BlueXPランサムウェア対策	NetAppランサムウェア耐性。 ランサムウェア耐性は、データを保護し、ランサムウェア攻撃から迅速に回復するのに役立ちます。
BlueXPの経済効率	ライフサイクル計画。 ライフサイクル プランニングは、未使用および十分に活用されていないリソースを特定することで、ストレージ コストを最適化するのに役立ちます。 ストレージ > ライフサイクル プランニング メニューからライフサイクル プランニングにアクセスします。
BlueXP digital wallet	ライセンスとサブスクリプション 管理 > ライセンスとサブスクリプション メニューからライセンスとサブスクリプションにアクセスします。

コンソールエージェント

管理 > エージェント メニューからコンソール エージェントにアクセスして管理します。NetApp は、**Systems** ページ (以前の Canvas) のコンソール エージェントの選択方法を変更しました。NetAppはコネクタメニュー名をアイコンに置き換えました[エージェントアイコン]、システムを表示するコンソール エージェントを選択できます。



管理 > エージェント メニューからエージェントを管理することもできます。

コンソールエージェント 4.0.0

このコンソール エージェントのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の新機能が含まれています。

4.0.0 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

必要なネットワークエンドポイントの統合と削減

NetApp は、コンソールとコンソール エージェントに必要なネットワーク エンドポイントを削減し、セキュリティを強化して導入を簡素化しました。重要なのは、バージョン 4.0.0 より前のすべてのデプロイメントが引き続き完全にサポートされていることです。以前のエンドポイントは既存のエージェントで引き続き使用できますが、NetApp、エージェントのアップグレードが成功したことを確認した後、ファイアウォール ルールを現在のエンドポイントに更新することを強くお勧めします。

- ["エンドポイントリストを更新する方法を学ぶ"](#)。
- ["必要なエンドポイントの詳細について説明します。"](#)

コンソールエージェントの VCenter 展開のサポート

OVA ファイルを使用して、VMware 環境にコンソール エージェントを展開できます。OVA ファイルには、コンソール エージェント ソフトウェアと NetApp コンソールに接続するための設定が含まれた、事前構成された VM イメージが含まれています。ファイルのダウンロードまたは URL の展開は、NetApp コンソールから直接行うことができます。["VMware 環境にコンソール エージェントを展開する方法を学習します。"](#)

VMware 用コンソール エージェント OVA は、迅速な展開のために事前構成された VM イメージを提供します。

失敗したエージェントの展開に関する検証レポート

NetApp コンソールからコンソール エージェントを展開するときに、エージェント構成を検証するオプションが追加されました。コンソールがエージェントの展開に失敗した場合、トラブルシューティングに役立つダウンロード可能なレポートが提供されます。

コンソールエージェントのトラブルシューティングの改善

コンソール エージェントでは、問題をよりよく理解するのに役立つエラー メッセージが改善されました。["コンソール エージェントのトラブルシューティング方法を学習します。"](#)

NetApp コンソール

NetApp コンソール管理には、次の新機能が含まれています。

ホームページダッシュボード

NetApp コンソールのホーム ページ ダッシュボードでは、ヘルス、容量、ライセンス ステータス、データ サービスのメトリックを使用して、ストレージ インフラストラクチャのリアルタイムの可視性が提供されます。["ホームページの詳細をご覧ください。"](#)

NetApp アシスタント

組織管理者ロールを持つ新規ユーザーは、NetApp アシスタントを使用して、エージェントの追加、NetApp サポート アカウントのリンク、ストレージ システムの追加など、コンソールを構成できます。["NetApp アシスタントについて学習します。"](#)

サービスアカウント認証

NetApp コンソールは、システム生成のクライアント ID とシークレット、または顧客管理の JWT を使用したサービス アカウント認証をサポートしているため、組織はセキュリティ要件と統合ワークフローに最適なアプローチを選択できます。秘密鍵 JWT クライアント認証では非対称暗号化が使用され、従来のクライアント ID や秘密方式よりも強力なセキュリティが提供されます。秘密鍵 JWT クライアント認証では非対称暗号化が使用され、顧客の環境で秘密鍵が安全に保持され、資格情報の盗難リスクが軽減され、自動化スタックとクライアント アプリケーションのセキュリティが向上します。["サービス アカウントを追加する方法について説明します。"](#)

セッション タイムアウト

システムは、24 時間後またはユーザーが Web ブラウザを閉じるとユーザーをログアウトします。

組織間のパートナーシップのサポート

NetAppコンソールでパートナーシップを作成すると、パートナーは組織の境界を越えてNetAppリソースを安全に管理できるため、コラボレーションが容易になり、セキュリティが強化されます。["パートナーシップの管理方法を学ぶ"](#)。

スーパー管理者とスーパー閲覧者の役割

スーパー管理者 と スーパー閲覧者 の役割を追加しました。スーパー管理者 は、コンソールの機能、ストレージ、およびデータ サービスへの完全な管理アクセス権を付与します。スーパー ビューアー は、監査人および関係者に読み取り専用の可視性を提供します。これらの役割は、幅広いアクセス権が一般的である上級メンバーの小規模チームに役立ちます。セキュリティと監査可能性を向上させるために、組織では スーパー管理者 アクセスを控えめに使用し、可能な場合はきめ細かな役割を割り当てることが推奨されます。["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

ランサムウェア耐性に関する追加の役割

ランサムウェア耐性ユーザー行動管理者 ロールと ランサムウェア耐性ユーザー行動閲覧者 ロールが追加されました。これらのロールにより、ユーザーはそれぞれユーザーの行動と分析データを構成および表示できます。["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

サポートチャットを削除しました

NetApp は、NetAppコンソールからサポート チャット機能を削除しました。管理 > サポート ページを使用して、サポート ケースを作成および管理します。

2025年8月11日

コネクタ 3.9.55

BlueXPコネクタのこのリリースには、セキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

3.9.55 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

日本語サポート

BlueXP UI が日本語で利用できるようになりました。ブラウザの言語が日本語の場合、BlueXP は日本語で表示されます。日本語のドキュメントにアクセスするには、ドキュメント Web サイトの言語メニューを使用します。

運用回復力機能

運用回復力機能はBlueXPから削除されました。問題が発生した場合は、NetAppサポートにお問い合わせください。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

BlueXPの ID およびアクセス管理では、次の機能が提供されるようになりました。

運用サポートのための新しいアクセスロール

BlueXP は、運用サポートアナリストの役割をサポートするようになりました。このロールは、ストレージアラートを監視し、BlueXP 監査タイムラインを表示し、NetApp サポートケースを入力および追跡する権限をユーザーに付与します。

["アクセス ロールの使用について詳しく学習します。"](#)

2025年7月31日

プライベートモードリリース (3.9.54)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetApp サポート サイト"](#)

3.9.54 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.54、3.9.53	に行く "BlueXP ページの新着情報" バージョン 3.9.54 および 3.9.53 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年7月28日	に行く "BlueXP backup and recovery ページの新機能" 2025 年 7 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年7月14日 (バージョン1.45)	に行く "BlueXP classification ページの新機能" 。

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

アラート

2025年10月6日

BlueXP alertsは**ONTAP**アラートになりました

BlueXP alertsの名前がONTAPアラートに変更されました。

NetAppコンソールの左側のナビゲーション バーから [ストレージ] > [アラート] を選択してアクセスできます。

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2024年10月7日

BlueXP alerts一覧ページ

容量やパフォーマンスが低いONTAPクラスタを迅速に識別し、可用性の範囲を測定し、セキュリティリスクを特定できます。容量、パフォーマンス、保護、可用性、セキュリティ、構成に関連するアラートを表示できます。

アラートの詳細

アラートの詳細を掘り下げて推奨事項を見つけることができます。

ONTAP System Managerにリンクされたクラスタの詳細を表示する

BlueXP alertsを使用すると、ONTAPストレージ環境に関連付けられたアラートを表示し、ONTAP System Manager にリンクされている詳細をドリルダウンできます。

["BlueXP alertsについて学ぶ"](#)。

Amazon FSx for ONTAP

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年8月3日

レプリケーション関係タブの機能強化

レプリケーション関係テーブルにいくつかの新しい列が追加され、*レプリケーション関係*タブでレプリケーション関係に関する詳細情報が表示されるようになりました。テーブルには次の列が含まれるようになりました。

- SnapMirrorポリシー

- ソースファイルシステム
- ターゲットファイルシステム
- 関係の状態
- 最終転送時間

2025年7月14日

2 つの FSx for ONTAP ファイルシステム間でのデータ複製のサポート

BlueXP コンソールのキャンバスから、2 つの FSx for ONTAP ファイル システム間でのデータ レプリケーションが利用できるようになりました。

["データを複製する"](#)

Amazon S3 ストレージ

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。== 2023年3月5日

BlueXPから新しいバケットを追加する機能

かなり以前から、BlueXP Canvas で Amazon S3 バケットを表示する機能は提供されてきました。BlueXPから直接新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。 "[新しいAmazon S3バケットを追加する方法を見る](#)"。

Azure BLOB ストレージ

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2023年6月5日

BlueXPから新しいストレージアカウントを追加する機能

かなり以前から、BlueXP Canvas で Azure Blob Storage を表示することができました。BlueXPから直接、新しいストレージ アカウントを追加したり、既存のストレージ アカウントのプロパティを変更したりできるようになりました。["新しい Azure Blob ストレージ アカウントを追加する方法を学ぶ"](#)。

Azure NetApp Files

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年1月13日

BlueXPでネットワーク機能がサポートされるようになりました

BlueXPからAzure NetApp Filesのボリュームを構成するときに、ネットワーク機能を指定できるようになりました。これは、ネイティブのAzure NetApp Filesで利用可能な機能と一致しています。

2024年6月12日

新しい許可が必要です

BlueXPからAzure NetApp Filesボリュームを管理するには、次の権限が必要になりました。

Microsoft.Network/virtualNetworks/サブネット/読み取り

仮想ネットワーク サブネットを読み取るには、この権限が必要です。

現在BlueXPからAzure NetApp Filesを管理している場合は、以前に作成した Microsoft Entra アプリケーションに関連付けられているカスタム ロールにこのアクセス許可を追加する必要があります。

["Microsoft Entra アプリケーションを設定し、カスタム ロールの権限を表示する方法を学びます"](#)。

2024年4月22日

ボリュームテンプレートはサポートされなくなりました

テンプレートからボリュームを作成することはできなくなりました。このアクションは、利用できなくなっ

たBlueXP修復サービスに関連付けられていました。

バックアップとリカバリ

2025年10月6日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

BlueXP backup and recoveryは**NetApp**バックアップおよびリカバリになりました

BlueXP backup and recoveryは、 NetAppバックアップおよびリカバリに名前が変更されました。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、安全性とコンプライアンスが確保された簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリース ノート](#)。"

プライベートプレビューとしての **Hyper-V** ワークロード サポート

NetApp Backup and Recovery のこのリリースでは、Hyper-V ワークロードの検出と管理のサポートが導入されています。

- スタンドアロン インスタンスとフェールオーバー クラスタ インスタンス (FCI) 上の VM のバックアップと復元
- SMB3共有に保存されたVMを保護する
- 仮想マシンレベルでの一括保護
- VMとクラッシュ整合性バックアップ
- プライマリ、セカンダリ、オブジェクト ストレージから VM を復元する
- VMバックアップの検索と復元

Hyper-Vワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。 "[Hyper-V ワークロードの保護の概要](#)"。

プライベートプレビューとしての **KVM** ワークロードサポート

NetApp Backup and Recovery のこのリリースでは、KVM ワークロードの検出と管理のサポートが導入されています。

- NFS共有に保存されたqcow2 VMイメージのバックアップと復元
- ストレージプールのバックアップ
- 保護グループを使用した VM およびストレージ プールの一括保護
- VM整合性とクラッシュ整合性のVMバックアップ

- プライマリ、セカンダリ、オブジェクト ストレージから VM バックアップを検索して復元します
- KVM ベースの VM と VM データをバックアップおよび復元するためのガイド付きプロセス

KVMワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。 ["KVM ワークロードの保護の概要"](#)。

Kubernetes プレビューの改善

Kubernetes ワークロードのプレビュー リリースでは、次の機能強化が導入されています。

- 3-2-1 ファンアウトバックアップアーキテクチャのサポート
- バックアップターゲットとしてのONTAP S3 のサポート
- 管理を容易にする新しいKubernetesダッシュボード
- 拡張されたロールベースのアクセス制御 (RBAC) 構成には、次のロールのサポートが含まれます。
 - バックアップとリカバリのスーパー管理者
 - バックアップとリカバリのバックアップ管理者
 - バックアップとリカバリの復元管理者
 - バックアップとリカバリビューア
- SUSE Rancher Kubernetesディストリビューションのサポート
- マルチバケットのサポート: 異なるクラウドプロバイダー間でシステムごとに複数のバケットを使用し、システム内のボリュームを保護できるようになりました。

Kubernetesワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。 ["Kubernetes ワークロードの保護の概要"](#)。

Oracle Database ワークロード サポートのプライベート プレビュー

NetApp Backup and Recovery のこのリリースでは、Oracle Database ワークロードの検出と管理のサポートが導入されています。

- スタンドアロンのOracleデータベースを発見
- データのみ、またはデータとログのバックアップの保護ポリシーを作成する
- 3-2-1バックアップスキームでOracleデータベースを保護する
- バックアップ保持を構成する
- ARCHIVELOGバックアップのマウントとアンマウント
- 仮想化データベース
- データベースのバックアップの検索と復元
- Oracleダッシュボードのサポート

Oracle Databaseワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。 ["Oracle ワークロードの保護の概要"](#)。

2025年8月25日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

プレビューでの **VMware** ワークロードの保護のサポート

このリリースでは、VMware ワークロードを保護するためのプレビュー サポートが追加されました。オンプレミスのONTAPシステムから VMware VM とデータストアを Amazon Web Services およびStorageGRIDにバックアップします。



VMware ワークロードの保護に関するドキュメントは、テクノロジー プレビューとして提供されます。このプレビュー オファリングでは、NetApp は一般提供開始前にオファリングの詳細、内容、およびタイムラインを変更する権利を留保します。

"NetApp Backup and RecoveryによるVMwareワークロードの保護について詳しくは、[こちらをご覧ください](#)。"。

AWS、Azure、GCP向けの高パフォーマンスインデックスが一般提供開始

2025 年 2 月に、AWS、Azure、GCP 向けの高パフォーマンス インデックス (Indexed Catalog v2) のプレビューを発表しました。この機能は現在、一般公開 (GA) されています。2025 年 6 月には、すべての新規顧客にこれをデフォルトで提供しました。このリリースでは、すべての顧客がサポートを利用できるようになります。高パフォーマンスのインデックス作成により、オブジェクト ストレージに保護されているワークロードのバックアップおよび復元操作のパフォーマンスが向上します。

デフォルトで有効:

- 新規のお客様の場合、高パフォーマンスのインデックス作成がデフォルトで有効になっています。
- 既存のお客様の場合は、UI の [復元] セクションに移動して再インデックスを有効にすることができます。

2025年8月12日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

Microsoft SQL Server ワークロードが一般提供 (GA) でサポートされるようになりました

Microsoft SQL Server ワークロード サポートが、NetApp Backup and Recovery で一般提供 (GA) されました。ONTAP、Cloud Volumes ONTAP、Amazon FSx for NetApp ONTAPストレージ上で MSSQL 環境を使用している組織は、この新しいバックアップおよびリカバリ サービスを利用してデータを保護できるようになりました。

このリリースには、以前のプレビュー バージョンからの Microsoft SQL Server ワークロード サポートに対する次の機能強化が含まれています。

- * SnapMirrorアクティブ シンク*: このバージョンでは、SnapMirrorアクティブ シンク (SnapMirror Business Continuity [SM-BC] と呼ばれる) がサポートされるようになりました。これにより、サイト全体に障害が発生した場合でもビジネス サービスの運用が継続され、セカンダリ コピーを使用してアプリケーションが透過的にフェイルオーバーできるようになります。NetApp Backup and Recovery は、SnapMirror Active Sync および Metrocluster 構成での Microsoft SQL Server データベースの保護をサポートするようになりました。情報は、保護の詳細ページの ストレージと関係のステータス セクションに表

示されます。関係情報は、ポリシー ページの更新された セカンダリ設定 セクションに表示されます。

参照 ["ポリシーを使用してワークロードを保護する"](#)。

[Microsoft SQL Server ワークロードの保護の詳細ページ]

- マルチバケットのサポート: 異なるクラウド プロバイダーにまたがる作業環境ごとに最大 6 つのバケットを使用して、作業環境内のボリュームを保護できるようになりました。
- **SQL Server** ワークロードのライセンスと無料トライアルの更新: 既存のNetApp Backup and Recovery ライセンス モデルを使用して、SQL Server ワークロードを保護できるようになりました。SQL Server ワークロードには個別のライセンス要件はありません。

詳細については、["NetAppバックアップおよびリカバリのライセンスを設定する"](#)。

- カスタム スナップショット名: Microsoft SQL Server ワークロードのバックアップを管理するポリシーで、独自のスナップショット名を使用できるようになりました。ポリシー ページの 詳細設定 セクションにこの情報を入力します。

[NetAppバックアップおよびリカバリ ポリシーのSnapMirrorおよびスナップショット形式の設定のスクリーンショット]

参照 ["ポリシーを使用してワークロードを保護する"](#)。

- セカンダリ ボリュームのプレフィックスとサフィックス: ポリシー ページの 詳細設定 セクションで、カスタムのプレフィックスとサフィックスを入力できます。
- **ID とアクセス:** ユーザーの機能へのアクセスを制御できるようになりました。

参照 ["NetAppバックアップおよびリカバリにログイン"](#)そして ["NetAppバックアップおよびリカバリ機能へのアクセス"](#)。

- オブジェクト ストレージから代替ホストへの復元: プライマリ ストレージがダウンしている場合でも、オブジェクト ストレージから代替ホストに復元できるようになりました。
- ログ バックアップ データ: データベース保護の詳細ページにログ バックアップが表示されるようになりました。バックアップが完全バックアップかログ バックアップかを示す「バックアップ タイプ」列が表示されます。
- 強化されたダッシュボード: ダッシュボードにストレージとクローンの節約が表示されるようになりました。

[NetAppバックアップおよびリカバリダッシュボード]

ONTAPボリュームワークロードの強化

- * ONTAPボリュームの複数フォルダの復元*: これまでは、参照と復元機能から一度に 1 つのフォルダまたは複数のファイルを復元できました。NetApp Backup and Recovery では、参照と復元機能を使用して一度に複数のフォルダを選択できるようになりました。
- 削除されたボリュームのバックアップの表示と管理: NetAppバックアップおよびリカバリ ダッシュボードに、ONTAPから削除されたボリュームを表示および管理するオプションが追加されました。これにより、ONTAPに存在しなくなったボリュームのバックアップを表示および削除できるようになります。
- バックアップの強制削除: 極端なケースでは、NetApp Backup and Recovery がバックアップにアクセスできないようにする必要がある場合もあります。これは、たとえば、サービスがバックアップ バケットに

アクセスできなくなった場合や、バックアップが DataLock で保護されているが不要になった場合に発生する可能性があります。以前は、これらを自分で削除することはできず、NetAppサポートに連絡する必要があります。このリリースでは、バックアップを強制的に削除するオプションを使用できます (ボリュームおよび作業環境レベル)。



このオプションは慎重に使用し、極端なクリーンアップが必要な場合にのみ使用してください。オブジェクト ストレージでバックアップが削除されていない場合でも、NetApp Backup and Recovery はこれらのバックアップにアクセスできなくなります。クラウド プロバイダーにアクセスして、バックアップを手動で削除する必要があります。

参照 ["ONTAPワークロードを保護する"](#)。

2025年7月28日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

Kubernetes ワークロードのサポート (プレビュー)

NetApp Backup and Recovery のこのリリースでは、Kubernetes ワークロードの検出と管理のサポートが導入されています。

- kubeconfig ファイルを共有せずに、NetApp ONTAPを搭載した Red Hat OpenShift とオープンソースの Kubernetes クラスターを発見します。
- 統合されたコントロール プレーンを使用して、複数の Kubernetes クラスターにわたるアプリケーションを検出、管理、保護します。
- Kubernetes アプリケーションのバックアップとリカバリのためのデータ移動操作をNetApp ONTAPにオフロードします。
- ローカルおよびオブジェクト ストレージ ベースのアプリケーション バックアップを調整します。
- アプリケーション全体と個々のリソースを任意の Kubernetes クラスターにバックアップおよび復元します。
- Kubernetes 上で実行されているコンテナと仮想マシンを操作します。
- 実行フックとテンプレートを使用して、アプリケーション整合性のあるバックアップを作成します。

Kubernetesワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。 ["Kubernetes ワークロードの保護の概要"](#)。

2025年7月14日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

強化されたONTAPボリュームダッシュボード

2025 年 4 月には、はるかに高速で効率的な、強化されたONTAPボリューム ダッシュボードのプレビューをリリースしました。

このダッシュボードは、多数のワークロードを抱えるエンタープライズ顧客を支援するために設計されました。20,000 ボリュームを持つお客様の場合でも、新しいダッシュボードは 10 秒未満で読み込まれます。

プレビューが成功し、プレビューのお客様から素晴らしいフィードバックをいただいたため、これをすべての

お客様向けのデフォルトのエクスペリエンスにすることにいたしました。驚くほど高速なダッシュボードに備えてください。

詳細については、"[ダッシュボードで保護の状態を確認する](#)"。

パブリック テクノロジー プレビューとしての **Microsoft SQL Server** ワークロード サポート

NetApp Backup and Recovery のこのリリースでは、NetApp Backup and Recovery でお馴染みの 3-2-1 保護戦略を使用して Microsoft SQL Server ワークロードを管理できる更新されたユーザー インターフェイスが提供されます。この新しいバージョンでは、これらのワークロードをプライマリ ストレージにバックアップし、セカンダリ ストレージに複製し、クラウド オブジェクト ストレージにバックアップできます。

プレビューにサインアップするには、こちらに記入してください "[プレビュー登録フォーム](#)"。



Microsoft SQL Server ワークロードの保護に関するこのドキュメントは、テクノロジープレビューとして提供されています。このプレビュー提供において、NetApp は一般提供開始前に提供内容、内容、およびスケジュールを変更する権利を留保します。

このバージョンのNetApp Backup and Recovery には、次の更新が含まれています。

- **3-2-1** バックアップ機能: このバージョンではSnapCenter機能が統合されており、NetApp Backup and Recovery ユーザー インターフェイスから 3-2-1 データ保護戦略を使用してSnapCenterリソースを管理および保護できます。
- * SnapCenterからのインポート*: SnapCenter のバックアップ データとポリシーをNetApp Backup and Recovery にインポートできます。
- 再設計されたユーザー インターフェイス により、バックアップおよびリカバリ タスクをより直感的に管理できるようになります。
- バックアップ ターゲット: Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure Blob Storage、StorageGRID、ONTAP S3 環境にバケットを追加して、Microsoft SQL Server ワークロードのバックアップ ターゲットとして使用できます。
- ワークロード サポート: このバージョンでは、Microsoft SQL Server データベースと可用性グループのバックアップ、復元、検証、複製が可能になります。(他のワークロードのサポートは、将来のリリースで追加される予定です。)
- 柔軟な復元オプション: このバージョンでは、破損や偶発的なデータ損失が発生した場合に、データベースを元の場所と別の場所の両方に復元できます。
- 即時の実稼働コピー: 開発、テスト、分析用のスペース効率の高い実稼働コピーを、数時間または数日ではなく数分で生成します。
- このバージョンには、詳細なレポートを作成する機能が含まれています。

Microsoft SQL Server ワークロードの保護の詳細については、以下を参照してください。"[Microsoft SQL Server ワークロードの保護の概要](#)"。

2025年6月9日

このNetApp Backup and Recovery リリースには、次の更新が含まれています。

インデックスカタログのサポートの更新

2025 年 2 月に、データの復元における検索と復元方法で使用する更新されたインデックス作成機能 (インデックス カタログ v2) を導入しました。以前のリリースでは、オンプレミス環境でのデータ インデックス作成のパフォーマンスが大幅に向上しました。このリリースでは、インデックス カタログが Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) 環境で利用できるようになりました。

新規のお客様の場合、すべての新しい環境では Indexed Catalog v2 がデフォルトで有効になっています。既存のお客様の場合は、環境のインデックスを再作成して、Indexed Catalog v2 を活用することができます。

インデックスを有効にするにはどうすればいいですか？

データを復元するための検索と復元方法を使用する前に、ボリュームまたはファイルを復元する予定の各ソース作業環境で「インデックス作成」を有効にする必要があります。検索と復元を実行するときは、[インデックスを有効にする] オプションを選択します。

インデックスカタログはすべてのボリュームとバックアップ ファイルを追跡できるため、検索が迅速かつ効率的になります。

```
https://docs.netapp.com/us-en/data-services-backup-recovery/prev-ontap-restore.html["検索と復元のインデックスを有効にする"]。
```

Azure プライベート リンク エンドポイントとサービス エンドポイント

通常、NetApp Backup and Recovery は、保護タスクを処理するためにクラウド プロバイダーとのプライベート エンドポイントを確立します。このリリースでは、NetApp Backup and Recovery によるプライベート エンドポイントの自動作成を有効または無効にできるオプション設定が導入されました。プライベート エンドポイントの作成プロセスをより細かく制御したい場合、これは役立つ可能性があります。

保護を有効にするとき、または復元プロセスを開始するときに、このオプションを有効または無効にすることができます。

この設定を無効にした場合、NetApp Backup and Recovery が適切に機能するには、プライベート エンドポイントを手動で作成する必要があります。適切な接続がないと、バックアップおよびリカバリ タスクを正常に実行できない可能性があります。

ONTAP S3 でのSnapMirrorからクラウドへの再同期のサポート

以前のリリースでは、SnapMirror to Cloud Resync (SM-C Resync) のサポートが導入されました。この機能により、NetApp環境でのボリューム移行時のデータ保護が効率化されます。このリリースでは、ONTAP S3 の SM-C 再同期のサポートに加え、Wasabi や MinIO などの他の S3 互換プロバイダーのサポートも追加されました。

StorageGRID用の独自のバケットを用意する

作業環境のオブジェクト ストレージにバックアップ ファイルを作成すると、デフォルトでは、NetApp Backup and Recovery によって、設定したオブジェクト ストレージ アカウントにバックアップ ファイル用のコンテナ (バケットまたはストレージ アカウント) が作成されます。以前は、これをオーバーライドして、Amazon S3、Azure Blob Storage、Google Cloud Storage に独自のコンテナを指定できました。このリリースでは、独自のStorageGRIDオブジェクト ストレージ コンテナを導入できるようになりました。

見る ["独自のオブジェクトストレージコンテナを作成する"](#)。

データ分類

2025年10月6日

バージョン1.47

BlueXP classificationは**NetApp**データ分類になりました

BlueXP classificationがNetApp Data Classification に変更されました。名前の変更に加えて、ユーザー インターフェイスも強化されました。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

強化された調査エクスペリエンス

新しい検索可能なフィルター、値ごとの結果数、主要な調査結果をまとめたリアルタイムの分析情報、カスタマイズ可能な列とスライド式の詳細ペインを備えた更新された結果テーブルを使用して、データをより速く見つけて理解できます。

詳細については、以下を参照してください。 ["データを調査する"](#)。

新しいガバナンスとコンプライアンスのダッシュボード

直感的なウィジェット、より鮮明なビジュアル、改善された読み込みパフォーマンスにより、重要な洞察をより早く得ることができます。詳細については、["データに関するガバナンス情報を確認する"](#)そして["データに関するコンプライアンス情報を表示する"](#)。

保存されたクエリのポリシー（プレビュー）

データ分類により、条件付きアクションによるガバナンスを自動化できるようになりました。自動削除を含む保持ルールを作成し、定期的な電子メール通知を設定できます。これらはすべて、更新された保存済みクエリページから管理されます。

詳細については、以下を参照してください。 ["ポリシーを作成"](#)。

アクション（プレビュー）

調査ページから直接制御し、ファイルを個別または一括で削除、移動、コピー、タグ付けして、効率的なデータ管理と修復を実現します。

詳細については、以下を参照してください。 ["データを調査する"](#)。

Google Cloud NetApp Volumesのサポート

Data Classification は、Google Cloud NetApp Volumesでのスキャンをサポートするようになりました。NetAppコンソールからGoogle Cloud NetApp Volumesを簡単に追加して、シームレスなデータ スキャンと分類を実現します。

2025年8月11日

バージョン1.46

このデータ分類リリースには、バグ修正と次の更新が含まれています。

監査ページでのスキャンイベントの分析情報が強化されました

監査ページでは、BlueXP classificationのスキャン イベントに関する強化された分析がサポートされるようになりました。監査ページには、システムのスキャンが開始された日時、システムのステータス、および問題が表示されるようになりました。共有とシステムのステータスはマッピング スキャンでのみ使用できます。

監査ページの詳細については、以下を参照してください。"[NetAppコンソールの操作を監視する](#)"。

RHEL 9.6 のサポート

このリリースでは、ダーク サイトの展開を含むBlueXP classificationの手動オンプレミス インストール用に Red Hat Enterprise Linux v9.6 のサポートが追加されました。

次のオペレーティング システムでは、Podman コンテナ エンジンを使用する必要があり、BlueXP classificationバージョン 1.30 以上が必要です: Red Hat Enterprise Linux バージョン 8.8、8.10、9.0、9.1、9.2、9.3、9.4、および 9.5。

2025年7月14日

バージョン1.45

このBlueXP classificationリリースには、リソース使用率を最適化するコード変更が含まれており、次のようになります。

スキャン対象ファイル共有を追加するワークフローの改善

ファイル共有グループにファイル共有を追加するワークフローが簡素化されました。このプロセスでは、認証タイプ (Kerberos または NTLM) に基づいて CIFS プロトコルのサポートも区別されるようになりました。

詳細については、以下を参照してください。"[ファイル共有をスキャンする](#)"。

拡張ファイル所有者情報

調査タブでキャプチャされたファイルのファイル所有者に関する詳細情報を表示できるようになりました。[調査] タブでファイルのメタデータを表示するときは、ファイルの所有者を見つけて [詳細を表示] を選択し、ユーザー名、メール アドレス、SAM アカウント名を表示します。このユーザーが所有する他のアイテムも表示できます。この機能は、Active Directory が稼働している作業環境でのみ使用できます。

詳細については、以下を参照してください。"[組織内に保存されているデータを調査する](#)"。

2025年6月10日

バージョン1.44

このBlueXP classificationリリースには以下が含まれます。

ガバナンスダッシュボードの更新時間の改善

ガバナンス ダッシュボードの個々のコンポーネントの更新時間が改善されました。次の表は、各コンポーネ

ントの更新頻度を示しています。

コンポーネント	更新時間
データの時代	24 時間
カテゴリ	24 時間
データの概要	5分
重複ファイル	2 時間
ファイルの種類	24 時間
非ビジネスデータ	2 時間
オープン権限	24 時間
保存済みの検索	2 時間
機密データと幅広い権限	24 時間
データのサイズ	24 時間
古いデータ	2 時間
機密レベル別トップデータリポジトリ	2 時間

最終更新の時刻を表示し、重複ファイル、非ビジネス データ、保存された検索、古いデータ、および機密レベル別の上位データ リポジトリ コンポーネントを手動で更新できます。ガバナンスダッシュボードの詳細については、以下を参照してください。"[組織に保存されているデータに関するガバナンスの詳細を表示する](#)"。

パフォーマンスとセキュリティの改善

BlueXP分類のパフォーマンス、メモリ消費、セキュリティを改善するための機能強化が行われました。

バグ修正

Redis がアップグレードされ、BlueXP classificationの信頼性が向上しました。BlueXP classificationでは、スキャン中のファイル数レポートの精度を向上させるために Elasticsearch を使用するようになりました。

2025年5月12日

バージョン1.43

このデータ分類リリースには以下が含まれます。

分類スキャンの優先順位付け

データ分類では、マッピングのみのスキャンに加えて、マップと分類のスキャンを優先順位付けする機能がサポートされており、最初に完了するスキャンを選択できます。マップと分類スキャンの優先順位付けは、スキャンの開始中および開始前にサポートされます。進行中のスキャンを優先することを選択した場合、マッピングスキャンと分類スキャンの両方が優先されます。

詳細については、以下を参照してください。"[スキャンを優先する](#)"。

カナダの個人識別情報（PII）データカテゴリのサポート

データ分類スキャンは、カナダの PII データ カテゴリを識別します。これらのカテゴリには、すべてのカナダの州および準州の銀行情報、パスポート番号、社会保険番号、運転免許証番号、健康保険証番号が含まれます。

詳細については、以下を参照してください。 ["個人データのカテゴリ"](#)。

カスタム分類（プレビュー）

データ分類では、マップと分類スキンのカスタム分類をサポートします。カスタム分類を使用すると、正規表現を使用して組織固有のデータを取得するようにデータ分類スキンをカスタマイズできます。この機能は現在プレビュー段階です。

詳細については、以下を参照してください。 ["カスタム分類を追加する"](#)。

保存した検索タブ

ポリシータブの名前が変更されました["保存された検索"](#)。機能に変更はありません。

スキャンイベントを監査ページに送信する

データ分類は、分類イベント（スキャンの開始時と終了時）を["NetAppコンソール監査ページ"](#)。

セキュリティアップデート

- Keras パッケージが更新され、脆弱性 (BDSA-2025-0107 および BDSA-2025-1984) が軽減されました。
- Docker コンテナの構成が更新されました。コンテナは、生のネットワーク パケットを作成するためにホストのネットワーク インターフェイスにアクセスできなくなります。このアップデートでは、不要なアクセスを減らすことで、潜在的なセキュリティ リスクを軽減します。

パフォーマンスの向上

RAM 使用量を削減し、データ分類の全体的なパフォーマンスを向上させるために、コード強化が実装されました。

バグ修正

StorageGRID スキャンが失敗し、調査ページのフィルター オプションが読み込まれず、大量の評価でデータ検出評価がダウンロードされないというバグが修正されました。

2025年4月14日

バージョン1.42

このBlueXP classificationリリースには以下が含まれます。

作業環境の一括スキャン

BlueXP classificationは、作業環境の一括操作をサポートします。作業環境において、マッピング スキャンを有効にするか、マップと分類スキンを有効にするか、スキャンを無効にするか、ボリューム全体にカスタム構成を作成するかを選択できます。個々のボリュームを選択した場合は、一括選択が上書きされます。一括操作を実行するには、[構成] ページに移動して選択を行います。

調査レポートをローカルにダウンロードする

BlueXP classificationでは、データ調査レポートをローカルにダウンロードしてブラウザーで表示する機能がサポートされています。ローカル オプションを選択した場合、データ調査は CSV 形式でのみ利用でき、最初の 10,000 行のデータのみが表示されます。

詳細については、以下を参照してください。 ["BlueXP classificationを使用して組織内に保存されているデータを調査します"](#)。

2025年3月10日

バージョン1.41

このBlueXP classificationリリースには、一般的な改善とバグ修正が含まれています。また、次のものも含まれます:

スキャンステータス

BlueXP classificationは、ボリューム上の初期マッピングおよび分類スキャンの進行状況をリアルタイムで追跡します。個別のプログレッシブ バーでマッピング スキャンと分類スキャンが追跡され、スキャンされたファイルの合計数の割合が表示されます。進行状況バーにマウスを移動すると、スキャンされたファイルの数とファイルの合計数を表示することもできます。スキャンのステータスを追跡すると、スキャンの進行状況に関するより深い分析情報が得られ、スキャンをより適切に計画し、リソースの割り当てを把握できるようになります。

スキャンのステータスを表示するには、BlueXP classificationの **構成** に移動し、**作業環境構成** を選択します。各ボリュームごとに進行状況が一行で表示されます。

2025年2月19日

バージョン1.40

このBlueXP classificationリリースには、次の更新が含まれています。

RHEL 9.5 のサポート

このリリースでは、これまでサポートされていたバージョンに加えて、Red Hat Enterprise Linux v9.5 のサポートも提供されます。これは、**ダーク サイト**の展開を含む、BlueXP classificationの手動オンプレミス インストールに適用されます。

次のオペレーティング システムでは、Podman コンテナ エンジンを使用する必要があり、BlueXP classificationバージョン 1.30 以上が必要です: Red Hat Enterprise Linux バージョン 8.8、8.10、9.0、9.1、9.2、9.3、9.4、および 9.5。

マッピングのみのスキャンを優先する

マッピングのみのスキャンを実行する場合、最も重要なスキャンを優先できます。この機能は、作業環境が多数あり、優先度の高いスキャンが最初に完了するようにしたい場合に役立ちます。

デフォルトでは、スキャンは開始された順序に基づいてキューに入れられます。スキャンを優先順位付けする機能を使用すると、スキャンをキューの先頭に移動できます。複数のスキャンを優先できます。優先順位は先入れ先出しの順序で指定されます。つまり、最初に優先順位を指定したスキャンがキューの先頭に移動し、2番目に優先順位を指定したスキャンはキューの2番目になり、以下同様に続きます。

優先権は1回限り付与されます。マッピング データの自動再スキャンはデフォルトの順序で実行されます。

優先順位は**"マッピングのみのスキャン"**; マップスキャンや分類スキャンには使用できません。

詳細については、以下を参照してください。 **"スキャンを優先する"**。

すべてのスキャンを再試行する

BlueXP classificationは、失敗したすべてのスキャンを一括して再試行する機能をサポートしています。

すべて再試行 機能を使用すると、バッチ操作でスキャンを再試行できます。ネットワークの停止などの一時的な問題により分類スキャンが失敗した場合は、スキャンを個別に再試行するのではなく、1つのボタンですべてのスキャンを同時に再試行できます。スキャンは必要に応じて何度でも再試行できます。

すべてのスキャンを再試行するには:

1. BlueXP classificationメニューから、*構成*を選択します。
2. 失敗したスキャンをすべて再試行するには、「すべてのスキャンを再試行」を選択します。

分類モデルの精度向上

機械学習モデルの精度は["定義済みカテゴリ"](#)11%向上しました。

2025年1月22日

バージョン1.39

このBlueXP classificationリリースでは、データ調査レポートのエクスポート プロセスが更新されます。このエクスポートの更新は、データの追加分析を実行したり、データで追加の視覚化を作成したり、データ調査の結果を他のユーザーと共有したりするのに役立ちます。

以前は、データ調査レポートのエクスポートは 10,000 行に制限されていました。このリリースでは、制限が解除され、すべてのデータをエクスポートできるようになりました。この変更により、データ調査レポートからより多くのデータをエクスポートできるようになり、データ分析の柔軟性が向上します。

作業環境、ボリューム、保存先フォルダー、JSON または CSV 形式を選択できます。エクスポートされたファイル名には、データがいつエクスポートされたかを識別するのに役立つタイムスタンプが含まれます。

サポートされている作業環境は次のとおりです。

- Cloud Volumes ONTAP
- ONTAP向け FSx
- ONTAP
- 共有グループ

データ調査レポートからのデータのエクスポートには、次の制限があります。

- ダウンロードできるレコードの最大数は、タイプ（ファイル、ディレクトリ、テーブル）ごとに5億件です。
- 100 万件のレコードをエクスポートするには約 35 分かかると予想されます。

データ調査とレポートの詳細については、["組織内に保存されているデータを調査する"](#)。

2024年12月16日

バージョン1.38

このBlueXP classificationリリースには、一般的な改善とバグ修正が含まれています。

Cloud Volumes ONTAP

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

AWS での**Cloud Volumes ONTAP** の導入を簡素化

シングルノード構成と高可用性 (HA) 構成の両方で、クイック デプロイメント メソッドを使用して、AWS にCloud Volumes ONTAP をデプロイメントできるようになりました。この合理化されたプロセスにより、高度な方法に比べて手順数が削減され、1 ページにデフォルト値が自動的に設定され、ナビゲーションが最小限に抑えられ、展開がより迅速かつ容易になります。

```
https://docs.netapp.com/us-en/bluexp-cloud-volumes-ontap/task-quick-deploy-aws.html["クイックデプロイメントを使用してAWSにCloud Volumes ONTAPをデプロイする"]。
```

2025年9月4日

Cloud Volumes ONTAP 9.17.1RC

BlueXPを使用して、Azure および Google Cloud でCloud Volumes ONTAP 9.17.1 のリリース候補 1 をデプロイおよび管理できるようになりました。ただし、このバージョンはAWSでのデプロイおよびアップグレードには使用できません。

["Cloud Volumes ONTAPのこのリリースの詳細"](#)。

2025年8月11日

最適化ライセンスの提供終了

2025 年 8 月 11 日以降、Cloud Volumes ONTAP Optimized ライセンスは廃止され、Azure および Google Cloud マーケットプレイスの従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションで購入または更新できなくなります。Optimized ライセンスの年間契約を既に締結している場合は、契約終了までライセンスを引き続きご利用いただけます。Optimized ライセンスの有効期限が切れると、BlueXPでCloud Volumes ONTAP Essentials または Professional ライセンスを選択できます。

ただし、最適化されたライセンスを追加または更新する機能は、API を通じて利用できるようになります。

ライセンスパッケージの詳細については、以下を参照してください。 ["Cloud Volumes ONTAPのライセンス"](#)。

別の充電方法への切り替えについては、["容量ベースのライセンスを管理する"](#)。

コピーと同期

2025年10月6日

BlueXP copy and syncは**NetApp**コピー & 同期になりました

BlueXP copy and syncは、NetAppコピーおよび同期に名前が変更されました。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年2月2日

データブローカーの新しい**OS**サポート

データブローカーは、Red Hat Enterprise 9.4、Ubuntu 23.04、Ubuntu 24.04 を実行しているホストでサポートされるようになりました。

["Linuxホストの要件を表示"](#)。

2024年10月27日

バグ修正

いくつかのバグを修正するために、NetApp Copy and Sync とデータブローカーを更新しました。新しいデータブローカーのバージョンは 1.0.56 です。

デジタルアドバイザー

2025年10月6日

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年8月6日

サポート対象のスイッチ

サポート対象となるBrocade Fibre Channel SAN スwitchに関する情報を表示できるようになりました。これには、スイッチ モデル、シリアル番号、サポート ステータスに関する詳細が含まれます。["サポート対象のスイッチを表示する方法を学ぶ"](#)。

RSS AutoSupportデータのしきい値

AutoSupportウィジェットの最近の送信停止 (RSS) 制限が、システムが RSS としてフラグ付けされるまでの 48 時間 (2 日間) から 216 時間 (9 日間) に延長されました。これは、週ごとのAutoSupportデータのみを送信するStorageGRIDなどのプラットフォームに対応するために行われます。

Digital Advisor API カatalogの非推奨 API セクション

Digital Advisor API カatalogに、新しい非推奨の API セクションが追加されました。廃止が予定されている API と、廃止のタイムラインおよび代替 API がリストされます。

容量予測 V2 およびサポート終了 API モジュールの廃止

容量予測 V2 およびサポート終了 API モジュールは廃止される予定です。廃止された API にアクセスしたり、廃止予定のタイムラインや代替 API について知るには、**API サービス** → **参照** → **廃止された API** に移動します。

09 2025年7月

Upgrade Advisor

- ONTAPアップグレード計画を簡素化し、潜在的な障害や警告に対処するために、Upgrade Advisor プランにマルチフォーマット ダウンロード オプションが追加されました。アップグレード アドバイザー プランを Excel、PDF、JSON 形式でダウンロードできるようになりました。
- アップグレード アドバイザー プランの Excel 形式では、次の機能強化が行われました。
 - クラスターで実行された事前チェックを表示し、結果に「合格」、「不合格」、「スキップ」などのインジケータでフラグを付けることができます。これにより、クラスターがONTAPアップグレードを完了するのに最適な状態になります。
 - クラスターに適用可能な推奨される最新のファームウェア アップデートと、ONTAPターゲット バージョンに付属のバージョンを表示できます。
 - SAN クラスターの相互運用性チェックを提供する新しいタブが追加されました。選択したターゲットONTAPバージョンでサポートされているホスト OS バージョンを表示します。

ライセンスとサブスクリプション

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リア

ルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2025年3月10日

サブスクリプションを削除する機能

サブスクリプションを解除した場合は、デジタル ウォレットからサブスクリプションを削除できるようになりました。

マーケットプレイスサブスクリプションの使用済み容量を表示する

PAYGO サブスクリプションを表示するときに、サブスクリプションの消費容量を表示できるようになりました。

2025年2月10日

BlueXP digital walletは使いやすさを考慮して再設計され、追加のサブスクリプションとライセンスの管理機能を提供するようになりました。

新しい概要ダッシュボード

デジタル ウォレットのホームページには、NetAppライセンスと Marketplace サブスクリプションの更新されたダッシュボードがあり、特定のサービス、ライセンスの種類、必要なアクションをドリルダウンできます。

資格情報へのサブスクリプションの構成

BlueXP digital walletでは、プロバイダー資格情報へのサブスクリプションを設定できるようになりました。通常、これはマーケットプレイスのサブスクリプションまたは年間契約に初めて加入するときに行います。以前は、サブスクリプションの資格情報の変更は、「資格情報」ページでのみ実行できました。

サブスクリプションを組織に関連付ける

サブスクリプションが関連付けられている組織をデジタル ウォレットから直接更新できるようになりました。

Cloud Volume ONTAPライセンスの管理

Cloud Volumes ONTAPライセンスは、ホームページまたは 直接ライセンス タブから管理できるようになりました。サブスクリプション情報を表示するには、「マーケットプレイス サブスクリプション」タブを使用します。

2024年3月5日

BlueXP disaster recovery

BlueXP digital walletでは、BlueXP disaster recoveryのライセンスを管理できるようになりました。ライセンスを追加したり、ライセンスを更新したり、ライセンス容量の詳細を表示したりできます。

30 2023年7月

使用状況レポートの機能強化

Cloud Volumes ONTAP使用状況レポートにいくつかの改善が加えられました。

- 列名に TiB 単位が含まれるようになりました。
- シリアル番号用の新しい *node(s)* フィールドが追加されました。
- ストレージ VM 使用状況レポートに新しい ワークロード タイプ 列が追加されました。
- ストレージ VM およびボリュームの使用状況レポートに作業環境名が含まれるようになりました。
- ボリューム タイプ *file* のラベルが *Primary* (読み取り/書き込み) に変更されました。
- ボリューム タイプ *secondary* のラベルが *Secondary (DP)* に変更されました。

使用状況レポートの詳細については、以下を参照してください。 ["使用状況レポートをダウンロードする"](#)。

ディザスタ リカバリ

2025年10月6日

BlueXP disaster recoveryは**NetApp**災害復旧になりました

BlueXP disaster recoveryはNetAppディザスタリカバリに名前が変更されました。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

その他のアップデート

- Amazon FSx for NetApp ONTAPを使用した Amazon Elastic VMware Service (EVS) のサポートはパブリックプレビュー段階です。このリリースにより、一般公開されました。詳細については、["Amazon Elastic VMware Service とAmazon FSx for NetApp ONTAPを使用したNetApp災害復旧の紹介"](#)。
- オンプレミス展開での検出時間の短縮を含む、ストレージ検出の改善
- ロールベースのアクセス制御 (RBAC) や強化されたユーザー権限を含む、アイデンティティおよびアクセス管理 (IAM) のサポート
- Azure VMware ソリューションとCloud Volumes ONTAPのプライベート プレビュー サポート。このサポートにより、Cloud Volumes ONTAPストレージを使用して、オンプレミスから Azure VMware ソリューションへのディザスタ リカバリ保護を構成できるようになりました。

2025年8月4日

バージョン4.2.5P2

NetAppディザスタリカバリのアップデート

このリリースには次の更新が含まれています。

- 複数のストレージ仮想マシンから提示される同じ LUN を処理できるように VMFS サポートが改善されました。
- すでにアンマウントまたは削除されているデータストアを処理するために、テストのティアダウン クリーンアップが改善されました。
- サブネット マッピングが改善され、入力されたゲートウェイが指定されたネットワーク内に含まれているかどうかを検証されるようになりました。
- VM 名に「.com」が含まれている場合にレプリケーション プランが失敗する可能性がある問題を修正しました。
- レプリケーション プラン作成の一環としてボリュームを作成するときに、宛先ボリュームがソース ボリュームと同じになることを妨げる制限を削除しました。
- Azure Marketplace のNetApp Intelligent Services への従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションのサポートが追加され、無料試用版ダイアログに Azure Marketplace へのリンクが追加されました。

詳細については、["NetAppディザスタリカバリライセンス"](#)そして ["NetApp Disaster Recoveryのライセンスを設定する"](#)。

2025年7月14日

バージョン4.2.5

NetAppディザスタリカバリにおけるユーザーロール

NetApp Disaster Recovery では、各ユーザーの特定の機能やアクションへのアクセスを制御するためにロールを採用するようになりました。

このサービスは、NetApp Disaster Recovery に固有の次のロールを使用します。

- ディザスタ リカバリ管理者: NetAppディザスタ リカバリであらゆるアクションを実行します。
- 災害復旧フェイルオーバー管理者: NetApp災害復旧でフェイルオーバーと移行アクションを実行します。
- 災害復旧アプリケーション管理者: レプリケーション プランを作成および変更し、テスト フェイルオーバーを開始します。
- ディザスタ リカバリ ビューア: NetAppディザスタ リカバリの情報を表示できますが、アクションを実行することはできません。

NetApp Disaster Recovery サービスをクリックして初めて構成する場合は、**SnapCenterAdmin** 権限または **Organization Admin** ロールが必要です。

詳細については、["NetApp Disaster Recoveryにおけるユーザーの役割と権限"](#)。

["すべてのサービスのアクセスロールについて学ぶ"](#)。

NetApp Disaster Recoveryのその他のアップデート

- 強化されたネットワーク検出
- スケーラビリティの改善:
 - すべての詳細ではなく必要なメタデータをフィルタリングする
 - VM リソースをより速く取得および更新するための検出の改善
 - データ取得とデータ更新のためのメモリ最適化とパフォーマンス最適化
 - vCenter SDK クライアントの作成とプール管理の改善
- 次回のスケジュールされた検出または手動検出時の古いデータの管理:
 - vCenter で VM が削除されると、NetApp Disaster Recovery によってその VM がレプリケーション プランから自動的に削除されるようになりました。
 - vCenter でデータストアまたはネットワークが削除されると、NetApp Disaster Recovery によってレプリケーション プランとリソース グループからそれが削除されるようになりました。
 - vCenter でクラスタ、ホスト、またはデータセンターが削除されると、NetApp Disaster Recovery によってレプリケーション プランとリソース グループからそれが削除されるようになりました。
- ブラウザのシークレット モードで Swagger ドキュメントにアクセスできるようになりました。NetApp Disaster Recovery 内の [設定] オプション > [API ドキュメント] からアクセスするか、ブラウザのシークレット モードで次の URL から直接アクセスできます。"[Swaggerドキュメント](#)"。
- 状況によっては、フェイルバック操作後に、操作の完了後に iGroup が残されることがあります。このアップデートでは、古くなった iGroup が削除されます。
- レプリケーション プランで NFS FQDN が使用されていた場合、NetApp Disaster Recovery はそれを IP アドレスに解決するようになりました。この更新は、災害復旧サイトで FQDN を解決できない場合に役立ちます。
- UIの配置の改善
- 検出が成功した後に vCenter のサイズ設定の詳細をキャプチャするためのログの改善

Eシリーズシステム

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2025年5月12日

BlueXPアクセスロールが必要

BlueXPで E シリーズを表示、検出、または管理するには、組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、またはシステムヘルススペシャリストのいずれかのアクセスロールが必要です。
["BlueXPアクセスロールについて学習します。"](#)

2022年9月18日

Eシリーズのサポート

BlueXPから E シリーズシステムを直接検出できるようになりました。E シリーズシステムを検出すると、ハイブリッドマルチクラウド全体のデータを完全に表示できます。

ライフサイクルプランニング

2025年10月6日

BlueXP economic efficiencyはライフサイクルプランニングに

BlueXP economic efficiencyはライフサイクルプランニングに名前が変更されました。

NetAppコンソールの左側のナビゲーションバーから、[ストレージ]>[ライフサイクルプランニング]を選択してアクセスできます。

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2024年5月15日

無効になっている機能

BlueXP economic efficiency機能の一部は一時的に無効になっています:

- テクノロジーの刷新
- 容量を追加

2024年3月14日

テクノロジー更新オプション

既存の資産があり、テクノロジーを更新する必要があるかどうかを判断したい場合は、BlueXPの経済効率テクノロジー更新オプションを使用できます。現在のワークロードの簡単な評価を確認して推奨事項を入手するか、過去90日以内にAutoSupportログをNetAppに送信した場合は、サービスでワークロードシミュレーションを提供して、新しいハードウェアでのワークロードのパフォーマンスを確認できるようになりました。

ワークロードを追加し、シミュレーションから既存のワークロードを除外することもできます。

以前は、資産を評価して、テクノロジーの更新が推奨されるかどうかを特定することしかできませんでした。

この機能は、左側のナビゲーションの [Tech refresh] オプションの一部になりました。

詳細はこちら ["テクノロジーの更新を評価する"](#)。

エッジキャッシング

エッジキャッシングサービスは 2024 年 8 月 7 日に削除されました。

Google Cloud NetApp Volumes

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。== 2025年7月21日

BlueXPでのGoogle Cloud NetApp Volumesのサポート

BlueXPからGoogle Cloud NetApp Volumes を直接管理できるようになりました。

- 作業環境を追加します。
- ボリュームを表示します。
- 作業環境を削除します。

Google Cloud Storage

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。== 2023年7月10日

BlueXPから新しいバケットを追加し、既存のバケットを管理する機能

BlueXP Canvas では、Google Cloud Storage バケットをかなり長い間表示できます。BlueXPから直接新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。"[新しい Google Cloud Storage バケットを追加する方法をご覧ください](#)"。

Keystone

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2025年9月22日

アラート監視の追加

BlueXPのKeystoneダッシュボードには、サブスクリプション全体のアラートとモニターを管理するための 監視 タブが追加されました。この新しいタブでは次のことが可能になります。

- 容量使用状況とサブスクリプションの有効期限に関するシステム生成アラートとユーザー定義アラートの両方を含むアクティブなアラートを表示して解決します。
- 容量使用状況とサブスクリプション有効期限イベントを追跡するためのアラート モニターを作成します。

詳細については、"[アラートとモニターの表示と管理](#)"。

合理化されたパフォーマンス サービス レベルの表示

パフォーマンス サービス レベル情報は、別のタブから展開可能なビューに移動され、[サブスクリプション] タブ内で表示できます。各サブスクリプションの有効期限を表示するには、「有効期限」列の横にある下矢印をクリックします。詳細については、"[Keystoneサブスクリプションの詳細を表示する](#)"。

2025年8月28日

新しい列による論理使用状況の追跡の強化

FabricPoolボリュームのKeystone消費量追跡を強化するために、新しい列「合計フットプリント」が追加されました。

- * BlueXPのKeystoneダッシュボード : * **Assets** タブ内の **Volumes in clusters** タブに **Total footnotes** 列が表示されます。
- **Digital Advisor**: * ボリュームとオブジェクト * タブ内の * ボリュームの詳細 * タブに * 合計フットプリント * 列が表示されます。

この列には、パフォーマンス層とコールド層の両方のデータを含む、FabricPool階層化を使用したボリュームの合計論理フットプリントが表示されるため、Keystone の消費量を正確に計算できます。

Kubernetes

Kubernetes クラスターの検出と管理のサポートは、2024 年 8 月 7 日に削除されました。

移行レポート

移行レポート サービスは 2024 年 8 月 7 日に削除されました。

オンプレミスのONTAPクラスター

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2025年5月12日

BlueXPアクセスロールが必要

オンプレミスのONTAPクラスターを表示、検出、または管理するには、組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、またはシステムヘルス スペシャリストのいずれかのアクセス ロールが必要になります。 "[アクセス ロールについて学習します。](#)"

2024年11月26日

プライベートモードを備えた**ASA r2** システムのサポート

BlueXP をプライベート モードで使用するときに、NetApp ASA r2 システムを検出できるようになりました。このサポートは、BlueXPの 3.9.46 プライベート モード リリース以降で利用できます。

- "[ASA r2システムの詳細](#)"
- "[BlueXPの展開モードについて学ぶ](#)"

運用の回復力

運用回復力機能は 2025 年 8 月 22 日に削除されました。

ランサムウェア耐性

2025年10月6日

BlueXP ransomware protectionは**NetApp**ランサムウェア耐性に変わりました

BlueXPランサムウェア レプリケーションの名前がNetApp Ransomware Resilience に変更されました。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetAppコンソールは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年7月15日

SANワークロードのサポート

このリリースには、BlueXP ransomware protectionにおける SAN ワークロードのサポートが含まれています。NFS および CIFS ワークロードに加えて、SAN ワークロードも保護できるようになりました。

詳細については、["BlueXP ransomware protectionの前提条件"](#)。

ワークロード保護の改善

このリリースでは、SnapCenterやBlueXP backup and recoveryなどの他のNetAppツールからのスナップショットおよびバックアップ ポリシーを使用したワークロードの構成プロセスが改善されています。以前のリリースでは、BlueXP ransomware protectionは他のツールからのポリシーを検出し、検出ポリシーの変更のみが可能でした。このリリースでは、スナップショットおよびバックアップ ポリシーをBlueXP ransomware protectionポリシーに置き換えたり、他のツールのポリシーを引き続き使用したりできるようになりました。

詳細については、["ワークロードを保護する"](#)。

メール通知

BlueXP ransomware protectionが攻撃の可能性を検出すると、BlueXP通知に通知が表示され、設定した電子メール アドレスに電子メールが送信されます。

電子メールには、重大度、影響を受けるワークロード、BlueXP ransomware protectionの アラート タブのアラートへのリンクに関する情報が含まれています。

BlueXP ransomware protectionでセキュリティおよびイベント管理 (SIEM) システムを構成した場合、サービスはアラートの詳細を SIEM システムに送信します。

詳細については、["検出されたランサムウェアアラートを処理する"](#)。

2025年6月9日

ランディングページの更新

このリリースには、BlueXP ransomware protectionのランディング ページの更新が含まれており、無料トライアルの開始と検出が容易になります。

準備訓練の最新情報

以前は、新しいサンプル ワークロードに対する攻撃をシミュレートすることで、ランサムウェア対策訓練を実行できました。この機能を使用すると、シミュレートされた攻撃を調査し、ワークロードを回復できます。この機能を使用して、アラート通知、応答、および回復をテストします。必要に応じてこれらのドリルを実行し、スケジュールを設定します。

このリリースでは、BlueXP ransomware protectionダッシュボードの新しいボタンを使用して、テスト ワークロードでランサムウェア準備ドリルを実行できるようになりました。これにより、制御された環境内でランサムウェア攻撃のシミュレート、その影響の調査、ワークロードの効率的な回復が容易になります。

NFS ワークロードに加えて、CIFS (SMB) ワークロードでも準備ドリルを実行できるようになりました。

詳細については、["ランサムウェア攻撃への備えの訓練を実施する"](#)。

BlueXP classificationの更新を有効にする

BlueXP ransomware protectionサービス内でBlueXP classificationを使用する前に、BlueXP classificationを有効にしてデータをスキャンする必要があります。データを分類すると、セキュリティ リスクを増大させる可能性のある個人を特定できる情報 (PII) を見つけるのに役立ちます。

BlueXP ransomware protection内から、ファイル共有ワークロードにBlueXP classificationを展開できます。プライバシー露出*列で、*露出の特定*オプションを選択します。分類サービスを有効にしている場合、このアクションによって露出が識別されます。それ以外の場合、このリリースでは、ダイアログ ボックスに**BlueXP classification**を展開するオプションが表示されます。*デプロイ を選択すると、BlueXP classificationサービスのランディング ページに移動し、そのサービスをデプロイできます。W

詳細については、["クラウドでBlueXP classificationを展開"](#) BlueXP ransomware protection内でサービスを利用するには、["BlueXP classificationで個人を特定できる情報をスキャン"](#)。

2025年5月13日

BlueXP ransomware protectionにおけるサポートされていない作業環境の報告

検出ワークフロー中に、サポートされているワークロードまたはサポートされていないワークロードにマウスを移動すると、BlueXP ransomware protectionによって詳細が報告されます。これにより、一部のワークロードがBlueXP ransomware protectionサービスによって検出されない理由を理解するのに役立ちます。

サービスが作業環境をサポートしない理由は多数あります。たとえば、作業環境のONTAPバージョンが必要なバージョンよりも低い可能性があります。サポートされていない作業環境にマウスを移動すると、ツールヒントに理由が表示されます。

初期検出中にサポートされていない作業環境を表示でき、結果をダウンロードすることもできます。設定ページの ワークロード検出 オプションから検出結果を表示することもできます。

詳細については、["BlueXP ransomware protectionでワークロードを発見"](#)。

2025年4月29日

Amazon FSx for NetApp ONTAPのサポート

このリリースでは、Amazon FSx for NetApp ONTAPがサポートされます。この機能は、BlueXP ransomware protectionを使用して FSx for ONTAPワークロードを保護するのに役立ちます。

FSx for ONTAP は、クラウドでNetApp ONTAPストレージのパワーを提供する、完全に管理されたサービスです。ネイティブ AWS サービスの俊敏性と拡張性を備え、オンプレミスで使用するのと同じ機能、パフォーマンス、管理機能を提供します。

BlueXP ransomware protectionワークフローに次の変更が加えられました。

- 検出には、FSx for ONTAP 9.15 作業環境のワークロードが含まれます。
- [保護] タブには、FSx for ONTAP環境のワークロードが表示されます。この環境では、FSx for ONTAPバックアップ サービスを使用してバックアップ操作を実行する必要があります。BlueXP ransomware protectionスナップショットを使用してこれらのワークロードを復元できます。



FSx for ONTAPで実行されているワークロードのバックアップ ポリシーは、BlueXPでは設定できません。Amazon FSx for NetApp ONTAPで設定されている既存のバックアップポリシーは変更されません。

- アラート インシデントには、新しい FSx for ONTAP作業環境が表示されます。

詳細については、["BlueXP ransomware protectionと動作環境について学ぶ"](#)。

サポートされているオプションの詳細については、["BlueXP ransomware protectionの制限"](#)。

BlueXPアクセスロールが必要

BlueXP ransomware protectionを表示、検出、または管理するには、組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ランサムウェア保護管理者、またはランサムウェア保護閲覧者のいずれかのアクセス ロールが必要です。

["すべてのサービスに対するBlueXPのアクセスロールについて学ぶ"](#)。

2025年4月14日

即応訓練報告書

このリリースでは、ランサムウェア攻撃の準備訓練レポートを確認できるようになりました。準備ドリルを使用すると、新しく作成されたサンプル ワークロードに対するランサムウェア攻撃をシミュレートできます。次に、シミュレートされた攻撃を調査し、サンプルのワークロードを回復します。この機能は、アラート通知、対応、および回復プロセスをテストすることで、実際のランサムウェア攻撃が発生した場合に備えて準備ができていないことを確認するのに役立ちます。

詳細については、["ランサムウェア攻撃への備えの訓練を実施する"](#)。

新しいロールベースのアクセス制御のロールと権限

以前は、ユーザーの責任に基づいて役割と権限を割り当てることができました。これにより、BlueXP ransomware protectionへのユーザー アクセスを管理するのに役立ちました。このリリースでは、権限が更新されたBlueXP ransomware protectionに固有の2つの新しいロールが追加されました。新しい役割は次のとおりです。

- ランサムウェア保護管理者
- ランサムウェア保護ビューア

権限の詳細については、"[BlueXP ransomware protection機能へのロールベースのアクセス](#)"。

支払いの改善

このリリースには、支払いプロセスに対するいくつかの改善が含まれています。

詳細については、"[ライセンスと支払いオプションを設定する](#)"。

修正策

修復サービスは2024年4月22日に削除されました。

レプリケーション

2025年10月6日

BlueXP replicationはNetAppレプリケーションになりました

BlueXP replicationがNetAppレプリケーションに変更されました。

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2022年9月18日

FSx for ONTAPからCloud Volumes ONTAPへ

Amazon FSx for ONTAPファイルシステムからCloud Volumes ONTAPにデータを複製できるようになりました。

"[データレプリケーションの設定方法を学ぶ](#)"。

2022年7月31日

データソースとしての **FSx for ONTAP**

Amazon FSx for ONTAPファイルシステムから次の宛先にデータをレプリケートできるようになりました。

- Amazon FSx for ONTAP
- オンプレミスのONTAPクラスター

["データレプリケーションの設定方法を学ぶ"](#)。

2021年9月2日

Amazon FSx for ONTAPのサポート

Cloud Volumes ONTAPシステムまたはオンプレミスのONTAPクラスターからAmazon FSx for ONTAPファイルシステムにデータを複製できるようになりました。

["データレプリケーションの設定方法を学ぶ"](#)。

ソフトウェアアップデート

2025年10月6日

BlueXP software updatesはソフトウェアアップデートになりました

BlueXP software updatesの名前がソフトウェア アップデートに変更されました。

NetAppコンソールの左側のナビゲーション バーから、**[Health] > [Software updates]** を選択してアクセスできます。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年5月12日

BlueXPアクセスロールが必要

ソフトウェア アップデートをインストールするには、次のアクセス ロールのいずれかが必要です: 組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、ストレージ閲覧者、または ストレージ正常性スペシャリスト。ストレージ閲覧者ロールを持つユーザーには、ソフトウェア更新に関連するさまざまな権限がありますが、ソフトウェア更新をインストールすることはできません。["BlueXPアクセス ロールについて 学習します。"](#)

2025年4月2日

軽減されたリスク

BlueXP software updatesの概要セクションで、オペレーティング システム アップデートによって軽減できるリスクの合計数を表示できるようになりました。これにより、ユーザーはインストール ベースにおけるセキュリティと安定性の向上を評価できます。

StorageGRID

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2025年5月12日

必要なBlueXPアクセスロール

BlueXPでStorageGRID を表示、検出、または管理するには、次のアクセス ロールのいずれかが必要です: 組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、または ストレージ ヘルス スペシャリスト。 ["BlueXPアクセス ロールについて学習します。"](#)

2024年8月7日

新しい詳細ビュー

StorageGRID 11.8 以降では、使い慣れた Grid Manager インターフェイスを使用して、BlueXPからStorageGRIDシステムを管理できます。

["詳細ビューを使用してStorageGRIDを管理する方法を学びます"](#)。

StorageGRID管理インターフェイス証明書の確認と承認が可能

BlueXPからStorageGRIDシステムを検出するときに、StorageGRID管理インターフェイス証明書を確認して承認できるようになりました。検出されたグリッド上の最新のStorageGRID管理インターフェイス証明書を確認して承認することもできます。

["システム検出中にサーバー証明書を確認して承認する方法を学習します。"](#)

2022年9月18日

StorageGRIDのサポート

BlueXPから直接StorageGRIDシステムを検出できるようになりました。StorageGRIDを検出すると、ハイブリッド マルチクラウド全体のデータを完全に把握できます。

クラウド階層化

2025年10月6日

BlueXP tieringはNetApp Cloud Tiering に変更されました

BlueXP tieringはNetApp Cloud Tiering に名前が変更されました。

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2023年8月9日

バケット名にカスタムプレフィックスを使用する

以前は、バケット名を定義するときに、デフォルトの「fabric-pool」プレフィックス (例: *fabric-pool-bucket1*) を使用する必要がありました。バケットに名前を付けるときにカスタムプレフィックスを使用できるようになりました。この機能は、データを Amazon S3 に階層化する場合にのみ使用できます。 ["詳細情報"](#)。

すべてのBlueXPコネクタでクラスターを検索

複数のコネクタを使用して環境内のすべてのストレージ システムを管理している場合、階層化を実装する一部のクラスターが異なるコネクタに存在する可能性があります。どのコネクタが特定のクラスターを管理しているかわからない場合は、クラウド階層化を使用してすべてのコネクタを検索できます。 ["詳細情報"](#)。

2023年7月4日

非アクティブなデータを転送するための帯域幅を調整する

Cloud Tiering をアクティブ化すると、ONTAP は無制限のネットワーク帯域幅を使用して、クラスター内のボリュームからオブジェクト ストレージに非アクティブなデータを転送できます。階層化トラフィックが通常のユーザー ワークロードに影響を与えていることに気付いた場合は、転送中に使用できる帯域幅の量を調整できます。 ["詳細情報"](#)。

通知センターに表示される階層化イベント

階層化イベント「ストレージ効率を高めるためにクラスター <name> からオブジェクト ストレージに追加のデータを階層化します」は、クラスターが階層化しているコールド データが 20% 未満の場合 (階層化しているデータがまったくないクラスターを含む) に通知として表示されるようになりました。

この通知は、システムの効率を高め、ストレージ コストを節約するための「推奨事項」です。リンクを提供します ["クラウド階層化の総所有コストと節約額の計算ツール"](#) コスト削減の計算に役立ちます。

ボリュームキャッシュ

2025年10月6日

BlueXP volume cachingはボリュームキャッシュになりました

BlueXP volume cachingの名前がボリューム キャッシュに変更されました。

NetAppコンソールの左側のナビゲーション バーから **Mobility > Volume caching** を選択してアクセスできます。

BlueXPは**NetApp**コンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetAppデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

2023年6月4日

BlueXP volume caching

ONTAP 9 ソフトウェアの機能であるBlueXP volume cachingは、ファイル配布を簡素化し、リソースをユーザーやコンピューティング リソースの場所に近づけることで WAN の遅延を短縮し、WAN 帯域幅のコストを削減するリモート キャッシング機能です。ボリューム キャッシュは、リモートの場所に永続的な書き込み可能なボリュームを提供します。BlueXP volume cachingを使用すると、データへのアクセスを高速化したり、頻繁にアクセスされるボリュームのトラフィックを軽減したりできます。キャッシュ ボリュームは、特にクライアントが同じデータに繰り返しアクセスする必要がある場合など、読み取り集中型のワークロードに最適です。

BlueXP volume cachingを使用すると、作業環境としてAmazon FSx for NetApp ONTAP、Cloud Volumes ONTAP、オンプレミスなど、クラウド向けのキャッシング機能を利用できます。

["ボリュームキャッシュの詳細"](#)。

ワークロードファクトリー

2025年10月6日

BlueXP workload factoryが**NetApp**ワークロードファクトリーに

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

MCP との Ask Me 統合

Workload Factory の AI アシスタントである Ask Me は、Model Context Protocol (MCP) と統合されています。MCP を使用することで、Ask Me は外部環境と安全にインターフェイスし、API ツールにクエリを実行して、特定のストレージ環境に合わせた応答を提供します。

2025年10月5日

ストレージの新しい通知

NetApp Workload Factory 通知サービスには、ストレージの Well-Architected の問題に関する通知が含まれています。

["NetApp Workload Factory の通知"](#)

2025年6月29日

データベースの権限の更新

データベースの 読み取り専用 モードで次の権限が利用できるようになりました。

`cloudwatch:GetMetricData`。

["権限参照の変更ログ"](#)

BlueXP workload factory通知サービスのサポート

BlueXP workload factory通知サービスを使用すると、ワークロードファクトリーはBlueXP alertsサービスまたは Amazon SNS トピックに通知を送信できるようになります。BlueXP alertsに送信された通知は、BlueXP alertsパネルに表示されます。ワークロードファクトリーが Amazon SNS トピックに通知を発行すると、トピックのサブスクライバー (ユーザーや他のアプリケーションなど) は、トピックに設定されたエンドポイント (電子メールや SMS メッセージなど) で通知を受信します。

["BlueXP workload factory通知を構成する"](#)

2025年5月4日

CloudShell のオートコンプリート サポート

BlueXP workload factoryCloudShell を使用する場合、コマンドの入力を開始し、Tab キーを押して使用可能なオプションを表示できます。複数の可能性がある場合は、CLI に提案のリストが表示されます。この機能により、エラーが最小限に抑えられ、コマンドの実行速度が速まり、生産性が向上します。

権限に関する用語の更新

ワークロード ファクトリーのユーザー インターフェイスとドキュメントでは、読み取り権限を示すために「読み取り専用」を使用し、自動化権限を示すために「読み取り/書き込み」を使用するようになりました。

リリースノート of インデックス

NetAppコンソールの機能とNetAppデータ サービスのリリース ノートの完全セットを表示します。

管理

- ["セットアップと管理"](#)
- ["アラート"](#)
- ["オートメーションハブ"](#)
- ["デジタルアドバイザー"](#)
- ["経済効率"](#)
- ["ライセンスとサブスクリプション"](#)
- ["ソフトウェアアップデート"](#)

ストレージ

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Amazon S3 ストレージ"](#)
- ["Azure BLOB ストレージ"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Cloud Volumes ONTAP"](#)
- ["NetAppコンソールでのCloud Volumes ONTAP管理"](#)
- ["Eシリーズシステム"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)
- ["Google Cloud Storage"](#)
- ["オンプレミスのONTAPクラスター"](#)
- ["StorageGRID"](#)

サービスとしてのストレージ

- ["Keystone"](#)

データサービス

- ["バックアップとリカバリ"](#)
- ["データ分類"](#)
- ["コピーと同期"](#)

- "ディザスタ リカバリ"
- "ランサムウェア耐性"
- "レプリケーション"
- "クラウド階層化"
- "ボリュームキャッシュ"
- "ワークロードファクトリー"

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetAppコンソールに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。